

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	株式会社SVC 児童発達支援 ヒトツナ麻布教室			
○保護者評価実施期間	2025年2月1日 ～ 2025年 2月16日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38名	(回答者数)	18名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日 ～ 2025年 2月28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・小集団を目的とした療育。	・丁寧なアタッチメントと基本としてしっかりと関係性を構築してから小集団への促しをする。	・プログラム内容の展開への工夫。
2	・ソーシャルスキルを意識しながらも個を大切に関わる療育。	・施設へ慣れてきてからの集団への誘い方や、保護者への利用時間のご案内などを適宜行う。	・利用を安定して継続できるように、施設の状態を整える。
3	・柔軟な予約対応。	・保護者が対応しやすい予約方法に対応する。	・ご希望いただいた予約を、ご希望通り受け付ける。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域の関係機関の連携が取れていない。	・事業所の運営を整えることを最優先としていることから、後手になってしまっている。	・地域に根付いた施設を目標とし、地域自治体とも連携を持っていく。
2	・保護者同士の交流やペアトレなどを定期的に行う。	・開催の日数に限りがあったり、利用しにくい日程が考えらるる。	・開催時期を早めにお知らせしたり、参加しやすい時期や日程を検討していく。
3	・きょうだいや保護者間の交流の機会を設ける。	・開催日が直前であったり、保育要員が確保できず交流の場での支援まで配慮が行き届いていない。	・開催時期の調整や、誰でも参加できるような環境を整えていく。